

ファニーグリーン

シアトルタイムズ冬号

国際猫協会遺伝学委員会の委員長である Solveig Pflueger は、ダルズ・ラパーマの特徴を「ちょっと攻撃的なフレンドリーさ」と言う。

この品種の母体であるオレゴン州ザ・ダルズの Linda Koehl さんは、「彼らは注目を浴びることに喜びを感じます。彼らは注目を浴びるのが大好きで、時にはあなたを放っておかないこともあります。撫でられるのが大好きで、あなたと会話するのが好きなんです。とても愛情深いのですが、要求するようなことはありません。あなたは彼らを "犬の猫" と呼ぶかもしれませんが」。

完璧なパートナーのように聞こえないだろうか？

9月にシアトルで開催される TICA の年次総会で、新品種とカラーの完全な認定を受ける予定のこの特徴的なパッケージのうち、パーソナリティは半分に過ぎない。  
全ての色が揃っているカーリーコートがもう一つの要素だ。

ラパーマの起源は、一夜にして人気に火がついた他の数多くの珍しい品種と同様、納屋にある。

Linda さんと夫の Richard さんは、ザ・ダルズから 5 マイルほど離れたところに 10 エーカーのサクランボ果樹園を所有している。1982年にロサンゼルスから移住してきた夫妻は、2匹の納屋猫を買った。グレーのタビーである Speedy が 6匹の子を産んだ。一匹の子猫は、他の子猫や母親とは似ても似つかぬ姿をしていた。小さくて、長くて、耳が大きくて、毛が少なかった。8週間もすると、柔らかい巻き毛が出てきた。

「私はこの子を "Curly" と呼び、かわいがっていました」と Koehl さんは振り返る。「ピンクパンサーに似ていました。自分が何を持っているのかわからなかった。このままでは死んでしまうと思い、母親に預けました。この子が生まれたのが夏だったのが幸いでした。この寒い冬にあの猫が生きていたかどうかはわかりませんから」。

しかし、Curly は生き残った。実際、彼女は成長し、彼女のような子が 1 回の出産で 2~8 匹の割合で納屋に現れるようになるまで、そう時間はかからなかった。

やがて、Curly のアウトドア好きが災いした。ある夜、Curly は姿を消し、そのまま帰ってこなかった。「しかし、Curly は、その柔らかいカーリーコートと素晴らしい性格を受け継いだ子猫たちを残してくれました」。

Koehl さんはブリーダーではなく、「私は猫のことをほとんど知らなかった」と認めている。「ネズミの数を抑えるために飼っていたんです」。

彼女の夫は町内のチャイルドケアセンターのメンテナンスマネージャーで、Koehl さんは劇場用衣装のビジネスを行っている。

「Curly の被毛に惹かれました。触ってみると、とても魅力的で癒されました。そして、すぐに彼女の個性が開花し、私は彼女を一人にすることができなくなりました。でも、彼女も私を放っておくことはできませんでした」。

その後、Curly のクローンが生まれると、Koehl さんはその子たちを「ラパーマ」と呼ぶようになった。

5年間、選択的な繁殖は試みられなかった。しかし、その後に生まれた子猫にハゲが多く見られるようになり、Koehl さんは自分が

何をしているのか疑問に思うようになった。子猫を見た友人たちが興味を持ち、質問をしてくるようになった。「私は何も答えられませんでした」と Koehl さんは言う。

ついに 3 年前、彼女の夫が、何か答えてくれないと子猫を処分しなければならないと懇願してきた。「ポートランドで開催された CFA (Cat Fanciers Association) のショーに 4 匹持って行った。コラットのブリーダーがやってきて、彼らを一目見て興奮して尋ねた。「あなたは何を持っているか知っていますか？」

ここでも、彼女は答えられなかった。彼は慌ててアナウンサーに駆け寄り、「ぜひ見に来てください」とブリーダーたちに呼びかけた。やがて、Koehl さんと彼女の 4 匹の猫の周りには、40 人ほどの好奇心旺盛な見物人が集まってきた。

みんなの熱気が彼女の心を動かした。「その場を後にしたとき、私は何か特別なものを手に入れたのではないかと思うようになりました」と彼女は言う。彼女はさらに多くのショーに参加し、審査員や出展者に質問をし、彼らは彼女のラパーマを注意深く観察した。

しかし、Koehl さんはこのユニークな生物を自分の手柄にしたいと考えている。「これは母なる自然が成し遂げたことなのです。この猫たちは放し飼いにされていたので、自分たちで繁殖したのです。私は何もしていません。母なる自然が騙されやすい人を見つけ、自分でたくさんの精製を加えて助けてくれたのです」。

そして、その騙されやすい人が、TICA の中でも最も人気のある品種の一つになるかもしれないという導き手となった。

1992 年に開催されたポートランドショーから間もなく、Koehl さんは放し飼いにしていたラパーマの納屋猫たちを集めて、保護のために管理された環境に置き始めた。

「私はすべての交配の記録を取り始めました。ソルヴェイグやグロリア・スティーブンス (オレゴン州の作家でブリーダー) のような遺伝学者に手紙を書いたり電話したりしました。これは愛情のこもった仕事ですが、私はどうしてもこの猫たちを完全に認めさせたいのです」。

Koehl さんは TICA の 15 人の理事会に LaPerm の完全なインフォメーション・パケットを郵送している。理事会は 9 月にラパーマをショーのラインナップに加えるかどうかを投票する。彼女は、ラパーマを知らない人が間近で見ることができるように、数匹のラパーマを連れて行く。

コネチカット州ウェスト・サフィールドに住む Pflueger 氏は、2 匹のラパーマを所有しており、グループにラパーマの受け入れを推奨する予定だ。「Linda さんは非の打ち所のない記録を持っていて、遺伝子を分析するのに十分なデータを持っています」。

「新しい品種の話をする時、必ずと言っていいほど "素晴らしい個性を持っている" と言われます。必ずしもそうとは限りませんが、LaPerm は確実にそうです。この品種は自分自身を売り込むことができるので、理事会でも良いチャンスがあると思います」。Pflueger 氏は、この猫の動じない性格に感銘を受けた。彼女のペアと、マサチューセッツ州ウェスト・スプリングフィールドに住む Laurie Bobskill が所有するペアは、今年の初めにマディソン・スクエア・ガーデンで開催された大規模なショーに出展された。

「彼らは 3 日間、人混みやメディア、ハンドリングに耐え、そのほとんどすべての時間を楽しんだのです。これは、彼らの耐久性と性格を証明するものでした」。

Pflueger 氏によると、この品種の性格と被毛は、エレガントさを凌駕しており、彼女はそれを "ボーナスまたは隠れた品質" と呼

んでいる。

最小限のグルーミングで済むラパーマは、たまにお風呂に入れてタオルで乾かす程度のお手入れで済む。Koehl さんによれば、ドライヤーで乾かすと被毛が縮んでしまうという。完全に乾いた後、細かい霧状の水をかけると、よりカールした状態になる。

ラパーマは中型猫で、オスは約 7 ポンド、メスは 5～6 ポンド。「拾いやすく、抱きやすい」と Pflueger 氏は付け加える。「彼らは顔が大好きです。彼らは顔が大好きで、あなたの顔に前足を乗せ、顔をこすりつけてきます。キスされるのも大好きで、耳をかじることもあります。赤ちゃんのように腕の中に抱かれたり、肩にかけられたりして、とても満足します。歩いているときに肩にかけてもらうと、とても満足します」。

ペット用のラパーマは 300 ドルから 400 ドルで販売されており、長毛種と短毛種がある。

RANNY GREEN はシアトルタイムズに寄稿している。

彼に手紙を書くには 120 John Street, Seattle, Wash. 98108.)

Linda Koehl さんと Sunshine。

Koehl さんはすべての猫にインディアン・ネームをつけている。